

第 17 回畜産版 5S 研究会

(一般的 5S=整理、整頓、清潔、掃除、しつけ)

日 時： 平成 27 年 4 月 16 日 (木) 15:00~16:50
場 所： サンデンフォレスト森の教室
参 加 者： 林 邦雄 (林牧場)、林 丈志 (林牧場)、関上 (前橋市農林課)、渡辺 (獣
医師)、落合 絢子 (群馬県産業支援機構)、宇津木 温 (群馬県産業支
援機構)、飯塚登志 (NPO 法人ぐんまテクノサポーターズ)、奥野 博邦
(元サンデン 5S 担当者)、台 (サンデン)、小林 (事務局)

議 事 録 (案)

参加者紹介

挨拶：会長 林 邦雄

議 題：

1、 第 16 回畜産版 5S 研究会のレビュー

資料：議事録

議事録にて確認 (事務局による朗読説明)

2、 畜産版 5S 活動その後の取り組みについて経過報告

・ 林 牧場の取り組みについて (林 丈志)

林牧場では 5S コンテストを 11 回実施してきている。

新入社員を 20 名採用した。

売り手市場の労働環境のなかで、学生に当社を選んでもらった動機は「キレイだから」が大きかった。

宮崎農場は 5S 活動が進んでいる。5S 化が進化しつつある。

・ 前橋市の取り組みについて (関上)

5S 普及の講演会を通して、若手の何人かが積極的意欲を示している。これらの方を対象に個別指導にできるべきと思う。

意欲を持った若手をグループ化し、それぞれの農場を会場にして持ち回りで研究会をしていく提案をしたい。

JA の役員対象では継続性が疑問である。

・ 産業支援機構の取り組みについて (落合)

5S 研究会への参加方法を明確にしてほしい。

・ 渡辺獣医師より

PED 対策にも有効である。キレイな農場は収益性が高い。

課題はリーダー (社長) の姿勢としつけが問題である。

3、 5S のパート 2 仕事の 5S、品質の 5S、等 (奥野)

・ トップを動かすには競合他社をみせる。

- ・楽しみながら実施していく
 - ・成功体験、ホメル、改善事例、整頓事例、提案、テーマを考える
 - ・1番の問題はコミュニケーション：トップダウン、ボトムアップをしながら会社の目標を浸透させる。
 - ・ルールは自分たちでつくらせる。
 - ・林 会長：月 1 回ミーティングを行っている。月報をパソコンで共有化しているためミーティングの時間が 30 分ほどセーブできるようになって来た、このような中で出来た時間に講師を呼んだ勉強会をしている。
第 1 回は渡辺獣医師に病気を持った豚に対する対応のルール作りをテーマに話して頂き、現場での処理方法の共有化がでてきている。
 - ・改善のためのベンチマークを現状とし、現状の問題、管理尺度を認識の上、
要因管理 → 結果管理 へつなげる。
前提は数値化、環境 5S である。
- 4、 畜産版 5S 研究の次のステージとして取り組んでいくことになった、高専の青井先生取り組みのパチルス菌について、
- ・効果をデータの的に捉えた報告
 - ・他
- 無し
- 5、 その他 フリートーキング
- ・ PED の問題から個別農家への訪問は控えていた（飯塚）
 - ・ 5S の普及のためには 5S 研究会への参加者を増やすことが必要（落合）
 - ・ 5S の勉強会は行政（前橋市、産業支援機構等）が主催して実施すると参加者が多くなる。（林 会長）
 - ・事務局からの提案：5S 研究会の次のステップとして奥野さんの指導の下、林丈志さん、石関さん、渡辺さんを中心に 儲かるためのパートⅡとして 仕事の 5S、品質の 5S、経営の 5S 教本作成に取り組んでもらいたい。
前橋市と産業支援機構で話し合っ、意欲のある方が気軽に参加する 5S 勉強会を近いうちに開催してもらいたい。
 - ・ 6 月の 20 日頃蛍の観察会の案内を行うことも伝えた。

(次回の日程)

日 時：9月16日（水）15：00～17：00

場 所：サンデンフォレスト 森の教室